



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東
 コード番号 9419 URL http://www.wirelessgate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 濱 暢宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理本部長 (氏名) 内田 則崇 TEL 03-6433-2045
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,165	△5.0	△62	—	△69	—	△37	—
2020年12月期第2四半期	5,436	△5.0	26	△53.2	20	△55.6	14	△58.1

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 △76百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △16百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	△3.50	—
2020年12月期第2四半期	1.35	1.32

(注) 2021年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,601	1,034	25.5
2020年12月期	3,752	802	21.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 919百万円 2020年12月期 795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,313	△4.0	46	△35.5	44	△28.4	55	—	5.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	10,779,774株	2020年12月期	10,779,774株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	53,000株	2020年12月期	53,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	10,726,774株	2020年12月期 2 Q	10,596,374株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減額	増減率 (%)
売上高	5,436,586	5,165,064	△271,521	△5.0
営業利益又は営業損失(△)	26,093	△62,558	△88,651	—
経常利益又は経常損失(△)	20,495	△69,499	△89,994	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	14,258	△37,571	△51,830	—

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大によって第4回目の緊急事態宣言を受け依然として社会・経済活動が停滞しており、景気の先行きについては、極めて不透明な状況が続いております。

以上のような環境において当社グループの主力事業である、WiMAXにおきましては、自社ECサイトにて販売を開始している「みんなのらくらくWiFi」の新規契約獲得は堅調に推移している一方で新規獲得にかかるマーケティング費用が想定より増加したことが大きく影響し前年実績を下回っております。

また、連結子会社である株式会社closip社が行っているクラウド事業においては、安全・簡便なテレワークを検討されている企業からの引き続き強い需要により順調に事業が拡大し、業種や会社規模によらず様々な企業での導入が進んでいることにより、6月末の時点での獲得ライセンス数は、27,860ライセンスとなっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、5,165,064千円(前年同期比5.0%減)となりました。利益につきましては、営業損失62,558千円(前年同期は営業利益26,093千円)、経常損失69,499千円(前年同期は経常利益20,495千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失37,571千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益14,258千円)となりました。

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から売上高の管理区分および名称を変更しております。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減額	増減率 (%)
ワイヤレス・リモートサービス	5,390,404	5,039,552	△350,851	△6.5
ワイヤレスゲートWi-Fi事業	5,390,404	5,039,542	△350,861	△6.5
リモートライフサポート事業	—	9	9	—

① ワイヤレス・リモートサービス

当第2四半期連結累計期間における売上高は5,039,552千円(前年同期比6.5%減)となりました。

・ワイヤレスゲートWi-Fi事業

「ワイヤレスゲートWiFi+スマホ保険付き」の販売が好調であり計画を上回って推移しております。一方でワイヤレスゲートWi-Fi事業の売上高の約8割を占めるWiMAXについては、自社ECサイトにて販売を行っている「みんなのらくらくWiFi」の新規契約獲得は堅調に推移している一方で実店舗の販売については、計画を下回っており依然として厳しい状況が続いております。

この結果、ワイヤレスゲートWi-Fi事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は5,039,542千円(前年同期比6.5%減)となりました。

・リモートライフサポート事業

「WiMAX+ 5G」または「クラウドWi-Fi」のレンタル販売サービス「あなたにオトモWi-Fi」を6月末にリリースし、アソビュー株式会社との協業により、アソビュー会員に販売開始しました。リモートライフサポート事業は今年度の計数目標には織り込んでいなかったものの、小規模ながら売上獲得となりました。

この結果、リモートライフサポート事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は9千円となりました。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	増減額	増減率 (%)
LTE-X事業	46,182	125,512	79,330	171.8

② LTE-X事業

当第2四半期連結累計期間における売上高は125,512千円（前年同期比171.8%増）となりました。

リモートワークソリューション、教育ICTソリューション、IoTソリューションなどのクラウド事業、およびプライベートLTE構築支援事業を行っております。クラウド事業は、安全・簡便なテレワークソリューションの提供や、各種IoT機器を安全に接続したいニーズなどに対応したソリューションを提供することで、順調に事業が拡大しております。

この結果、LTE-X事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は125,512千円（前年同期比171.8%増）となりました。

※新旧区分による売上高

(下線は、変更部分を示しております。)

旧区分による売上高		新区分による売上高	
① <u>ワイヤレス・ブロードバンド事業</u>		① <u>ワイヤレス・リモートサービス</u>	
・モバイルインターネットサービス	5,038,114千円	・ワイヤレスゲートWi-Fi事業	5,390,404千円
・公衆無線LANサービス	222,069千円	・リモートライフサポート事業	一千円
・オプションサービス	62,506千円		
・レンタルWi-Fiサービス	35,506千円		
・その他	9,297千円		
② <u>ワイヤレス・ビジネスドメイン事業</u>			
・その他法人向けサービス(注)	22,909千円		
② <u>ワイヤレス・ビジネスドメイン事業</u>		② <u>LTE-X事業</u>	
・LTE-X事業	46,182千円		46,182千円
合計	5,436,586千円	合計	5,436,586千円

(注) 旧区分における「② ワイヤレス・ビジネスドメイン事業 その他法人向けサービス」は、新区分においては、「①ワイヤレス・リモートサービス ワイヤレスゲートWi-Fi事業」に含めて計上しております。

(2) 財政状態に関する説明
資産、負債及び純資産の状況

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,891,091	2,812,708	△78,382	△2.7
固定資産	861,273	788,367	△72,906	△8.5
資産合計	3,752,365	3,601,075	△151,289	△4.0
流動負債	2,740,026	2,415,153	△324,873	△11.9
固定負債	210,004	151,652	△58,352	△27.8
負債合計	2,950,031	2,566,805	△383,225	△13.0
純資産合計	802,334	1,034,269	231,935	28.9
負債・純資産合計	3,752,365	3,601,075	△151,289	△4.0

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ151,289千円減少し3,601,075千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ78,382千円減少し2,812,708千円となりました。これは主に、現金及び預金が178,048千円増加した一方で、売掛金が87,144千円、前渡金が121,485千円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ72,906千円減少し788,367千円となりました。これは主に長期前払費用が81,713千円減少したためであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ383,225千円減少し2,566,805千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ324,873千円減少し2,415,153千円となりました。これは主に、買掛金が108,561千円、1年内返済予定の長期借入金が126,160千円、1年内償還予定の新株予約権付社債が60,000千円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ58,352千円減少し151,652千円となりました。これは主に、長期借入金が58,404千円減少したためであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ231,935千円増加し1,034,269千円となりました。これは主に、資本剰余金が161,571千円、非支配株主持分が86,501千円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ178,048千円増加し、1,326,509千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは176,581千円の収入（前年同期は63,465千円の収入）となりました。主な収入要因として、税金等調整前四半期純損失70,858千円、仕入債務の減少108,561千円、法人税等の支払額21,166千円が発生した一方で、減価償却費31,167千円、売上債権の減少87,144千円、前渡金の減少121,485千円、長期前払費用の減少81,713千円が発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは40,769千円の支出（前年同期は64,225千円の支出）となりました。主な支出要因として、無形固定資産の取得による支出17,341千円、敷金及び保証金の差入による支出16,100千円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは42,236千円の収入（前年同期は176,302千円の支出）となりました。主な支出要因として、長期借入金の返済による支出184,564千円が発生した一方で、収入要因として、非支配株主からの払込みによる収入226,800千円が発生したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。収束時期及び社会情勢によって変動するため、2021年2月12日に公表の予想値を据え置いております。今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

(単位：百万円)

	2020年12月期 (実績)	2021年12月期 (予想)	増減率 (%)
売上高	10,745	10,313	△4.0
営業利益	71	46	△35.5
経常利益	61	44	△28.4
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△139	55	—

※上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,148,460	1,326,509
売掛金	1,099,338	1,012,193
商品	47,624	30,451
前渡金	397,517	276,031
前払費用	188,443	179,533
その他	25,650	4,090
貸倒引当金	△15,943	△16,101
流動資産合計	2,891,091	2,812,708
固定資産		
有形固定資産	93,759	86,650
無形固定資産	114,713	120,848
投資その他の資産		
投資有価証券	145,300	143,841
長期前払費用	250,676	168,962
保険積立金	203,216	203,216
繰延税金資産	30,877	26,724
その他	79,693	94,785
貸倒引当金	△56,964	△56,664
投資その他の資産合計	652,800	580,867
固定資産合計	861,273	788,367
資産合計	3,752,365	3,601,075
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,239,777	1,131,215
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	364,968	238,808
未払金	440,768	443,493
1年内償還予定の新株予約権付社債	60,000	—
未払法人税等	36,841	10,418
その他	47,671	41,218
流動負債合計	2,740,026	2,415,153
固定負債		
長期借入金	200,042	141,638
資産除去債務	9,962	10,014
固定負債合計	210,004	151,652
負債合計	2,950,031	2,566,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	908,009	908,009
資本剰余金	787,727	949,299
利益剰余金	△772,681	△810,252
自己株式	△127,657	△127,657
株主資本合計	795,398	919,398
新株予約権	6,935	28,369
非支配株主持分	—	86,501
純資産合計	802,334	1,034,269
負債純資産合計	3,752,365	3,601,075

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,436,586	5,165,064
売上原価	3,688,090	3,355,575
売上総利益	1,748,495	1,809,489
販売費及び一般管理費	1,722,402	1,872,047
営業利益又は営業損失(△)	26,093	△62,558
営業外収益		
受取利息	2	1
未払配当金除斥益	1,129	—
還付加算金	26	46
貸倒引当金戻入額	3,000	300
受取ロイヤリティー	3,206	793
その他	756	334
営業外収益合計	8,121	1,475
営業外費用		
支払利息	2,268	5,721
投資事業組合運用損	4,132	1,459
長期前払費用償却	6,999	1,162
その他	318	73
営業外費用合計	13,719	8,416
経常利益又は経常損失(△)	20,495	△69,499
特別損失		
固定資産除却損	—	1,359
特別損失合計	—	1,359
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,495	△70,858
法人税、住民税及び事業税	18,338	1,286
法人税等調整額	18,966	4,152
法人税等合計	37,305	5,439
四半期純損失(△)	△16,809	△76,298
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	14,258	△37,571
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31,068	△38,726
四半期包括利益	△16,809	△76,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,258	△37,571
非支配株主に係る四半期包括利益	△31,068	△38,726

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,495	△70,858
減価償却費	39,134	31,167
固定資産除却損	—	1,359
株式報酬費用	—	21,434
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,120	△141
受取利息	△2	△1
支払利息	2,268	5,721
投資事業組合運用損益(△は益)	4,132	1,459
売上債権の増減額(△は増加)	△1,927	87,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△13,219	17,172
前渡金の増減額(△は増加)	△131,839	121,485
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,100	△108,561
長期前払費用の増減額(△は増加)	90,956	81,713
未払金の増減額(△は減少)	9,968	△4,159
その他	△4,392	18,228
小計	△6,647	203,164
利息の受取額	2	1
利息の支払額	△2,277	△5,717
法人税等の支払額	△479	△21,166
法人税等の還付額	69,867	—
その他の収入	3,000	300
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,465	176,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,221	△7,327
無形固定資産の取得による支出	△37,579	△17,341
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
敷金の回収による収入	7,249	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,674	△16,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,225	△40,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△176,244	△184,564
配当金の支払額	△58	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△200,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	226,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,302	42,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△177,063	178,048
現金及び現金同等物の期首残高	1,287,084	1,148,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,110,021	1,326,509

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(子会社の増資)

当社の連結子会社である株式会社closipは、2021年7月12日開催の取締役会において、第三者割当増資による新株式の発行について決議いたしました。その概要は、以下のとおりであります。

①発行株式数:	普通株式 3,926株
②発行価額:	1株当たり200,000円
③発行価額の総額:	785,200千円
④発行価額のうち資本に組入れる額:	392,600千円
⑤発行のスケジュール:	2021年7月21日、2021年7月30日
⑥資金の使途:	運転資金

(連結の範囲の変更)

当社の連結子会社である株式会社closipは、2021年7月12日開催の取締役会において、SBIインベストメント株式会社が運用するファンド、取締役および従業員に対して新株発行を行うことを決議し、2021年7月21日および2021年7月30日に払込が完了いたしました。これにより、株式会社closipに対する議決権比率は39.45%となり、当社の連結の範囲から除外され、持分法適用関連会社となりました。

株式会社closipは、当社の連結子会社には該当しないこととなりますが、損益に与える影響は軽微であります。

(1) 第三者割当増資の目的

運転資金

(2) 第三者割当増資の概要

①募集等の方法	第三者割当
②発行価額の総額	785,200千円
③資本組入額	増加する資本金の額 392,600千円
	増加する資本準備金の額 392,600千円
④払込期日	2021年7月21日、2021年7月30日